

環境学習プログラム

「公園ずかん」

はじめに・・・

この活動は、あらかじめシートに書かれた項目の物を、園内から探して見つけ、それをシートに書きこむことで、その項目についてよく観察することができる活動です。

解説をよく読んでやり方を説明すれば、子どもたちは自分でどんどんプログラムを進める事ができます。子どもたちが積極的に発見したり、考えたりできるよう、時には相談にのったり、一緒に探してみたりして下さい。活動後の話し合いでは、子どもたちが自然を見つける力に驚くことになるかもしれません。

みなさんで、名古屋市内の公園の四季の自然の素晴らしさを、じっくり味わってください。

1. 活動のねらい

- 動物や植物は季節の変化に応じて生活しています。この活動を通して、公園など身近な自然における、季節による動物や植物の変化に気付くことができます。
- 活動の中で気が付いたことを、絵や言葉でシートに自分なりに表現し、それが受け入れられることで、自分の意見に自信を持つことができます。
- それぞれ発見したことや感じたことの話し合いを通して、同じ対象でも感じ方や考え方、表現の仕方の違いがあることに気付くことができます。

2. 季節と時間

① 季節

- 一年中、いつでもできます。
- 異なる時期に何度か繰り返して体験することで、四季の自然の移り変わりや、生き物の営みの素晴らしさをしっかりと実感することができるでしょう。

② 所要時間

- 30分程度で実施可能ですが、できればそれ以上の時間をかけて、公園内の自然の素晴らしさを、じっくりと味わってください。
- 1回の所要時間は短くても、何度も繰り返して体験できれば、楽しさは何倍にもなるでしょう。

3. 対象と人数

① 対象

- 小学校1年～大人
- 基本的には、簡単な絵や文が書ければ誰でもできる活動ですが、子どもたちだけで活動するのであれば、小学校3年生以上が良いでしょう。

- それより下の年齢の子どもたちには、先生や大人などが一緒に回り、答えが見つかるようアドバイスしてあげてください。

② 人数

- 1人でもできますが、2人以上で行った方が楽しくできます。
- 6人以上の場合は、行動のしやすさから3~4人のグループに分けた方がいいかもしれません。個人の意見が生かされる程度の人数をお勧めします。

4. 教材の内容

- 発見シート (A3サイズで作成すると、A5サイズの図鑑ができあがります。)
- 【説明用】発見シート

5. 使うもの

- 鉛筆(筆記用具)、探検バック(シート記入の際の下敷きとなるもの)
色鉛筆(クーピー)を使うと、さらに表現に幅が出るでしょう。

6. すすめかた

○ルール説明・シートの配布

【説明用】発見シートを使って進め方や園内のルールを説明し、発見シートを配ります。

「このシートに書かれている物を、公園の中から探して見つけてください。見つけたらよく観察して『どこで見つけたか』『どんな場所にあったか』をシートにメモしたり、絵にかいたりしましょう。」

園内を散策するルートや範囲、集合時間なども伝えておきましょう。また、園内の動植物を持ってくることは禁止です。しかし、落ちている物ならば持ってきて構いません。

Point

絵を書いてみたり、落ちている物であれば拾ってくるのもよいでしょう。

人間には目だけでなく、耳・鼻・口・手などの感覚があることも説明することで、いろいろな感覚を使うことを意識させてみましょう。また、「君たちはどれくらい見つけられるかな？」等、子どもたちの発見への意欲を少しくすぐってあげてください。

○発見・観察・記録

公園を自由に歩きながら、シートの項目に当てはまる内容を、五感を使って調べます。発見したり気がついたりした自然の様子を、簡単な絵や言葉でシートに記録します。

Point

「自分の目で見て、自分で実感する」ことが目的です。絵や言葉で記録することはあくまで手段です。

「上手な絵、かっこいい言葉」が良いのではなく、「本当に自分が見たり感じたりした言葉かどうか」が大切です。

子どもたちがじっくり考えてしっかり書くことができる「時間の余裕」を与えてあげてください。

○分かち合い

「どれが一番（早く、簡単に、難しい、など）見つかった？（見つからなかった？）それはどうしてだと思う？」

「違う季節にやったら、結果はどうだろう？」

「シートに書いてなくても、発見したり感じたりしたことはあるかな？」

Point

感じ方、とらえ方は人それぞれです。すべての意見を肯定して受け入れましょう。発表には「よく気づいたね」「細かい点まで書けているね」など、相づちを打つことで子どもの達成感はより高まるでしょう。

例えば「木の上の方？下の方？」など、見つけた場所がより詳細に分かるよう、意見を引き出してあげると、同じ答えでもいろいろな違いが発見できるかもしれません。

7. 学習指導要領

① 生活科

この活動は、生活科 目標 (2) 「自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心を持ち、自然のすばらしさに気づき、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようにする」、内容 (5) 「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心を持ち、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする」に対応しています。

② 4年生理科

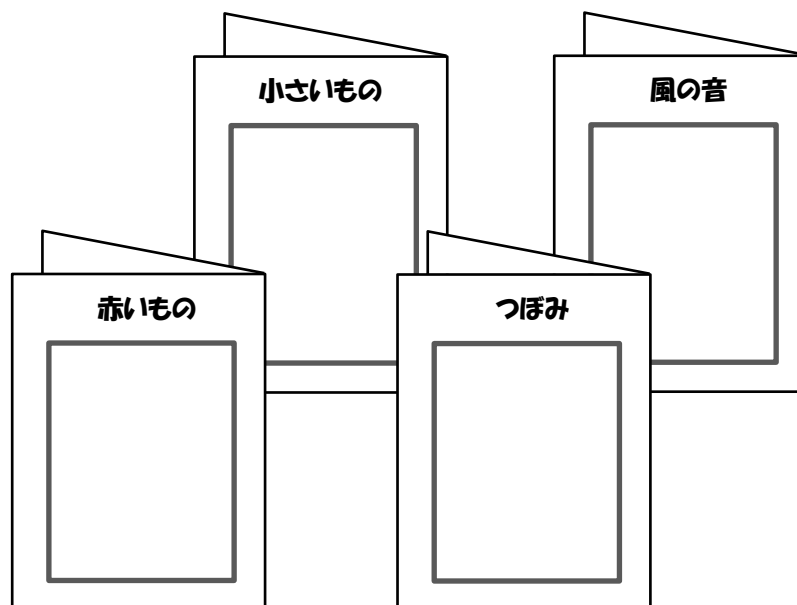
この活動は、4年生理科 B 生命・地球 (2) 季節と生物 に対応しています。

この教材を使うことで、教科の学習の導入や復習になると同時に、一人一人の子どもたちが、公園での貴重な自然体験をより豊かなものにすることができ、限られた時間を有意義に過ごすことができるのです。

「公園ずかん」の作り方

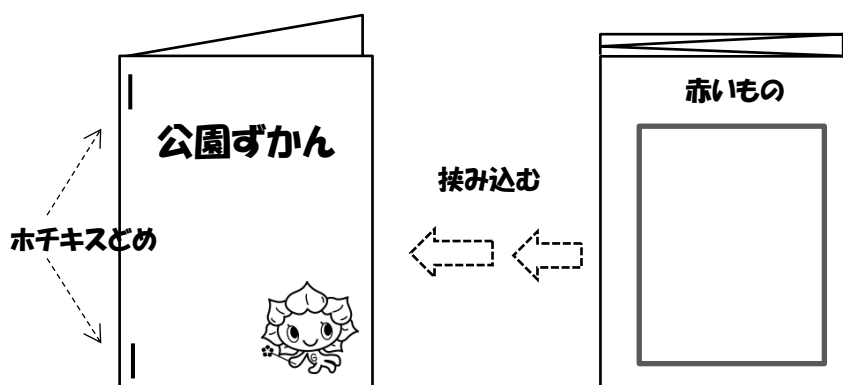
1.

発見シート（4枚）をそれぞれ半分に折る



2.

半分に折ったシートを
表紙に挟み込み
ホチキスでとめる



3.

完成！！